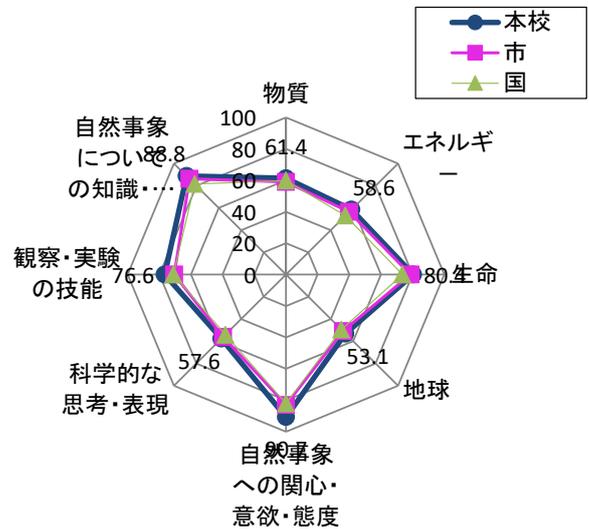


宇都宮市立富士見小学校第6学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物質	61.4	59.0	59.8
	エネルギー	58.6	56.4	53.1
	生命	80.4	78.6	73.6
	地球	53.1	50.9	49.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	90.7	82.9	82.1
	科学的な思考・表現	57.6	56.1	54.1
	観察・実験の技能	76.6	70.6	71.1
	自然事象についての知識・理解	88.8	86.2	81.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質	<p>○この領域の正答率は、61.4%で国の正答率を1.6ポイント上回った。</p> <p>○「ろ過後の溶液に砂が混じっている状況に着目しながら、誤った操作に気づき、適切に操作する方法を選ぶ」問題では、76.6%と国の正答率を5.5ポイント上回った。</p> <p>●「食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く」記述式の問題では、32.7%で国の正答率を3.2ポイント下回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果から確かに分かったことを文章で表現できるような活動を多く取り入れるようにする。 ・適切な言葉を使って理科的事象を説明することができるように、普段から予想や結果やまとめ、考察を自分で記述する活動を取り入れていく。
エネルギー	<p>○この領域の正答率は、58.6%で国の正答率を5.5ポイント上回った。</p> <p>○「目的の時間帯だけモーターを回すため、太陽の1日の位置の変化に合わせた箱の中での光電池の適切な位置や向きを選ぶ」問題では、52.3%と国の正答率を10.4ポイント上回った。</p> <p>●「回路を流れる電流の流れについて、自分の考えと異なる他者の予想を基に、検流計の針の向きと目盛りを選ぶ」問題では、51.4%と国の正答率を3.7ポイント上回ったが、正答率としては低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予想を考え話し合う学習では、他者の意見を聞き、筋道を立ててその理由を説明する力を育てるようにする。 ・検流計を2つ並べて計測する実験も1つだけのときと比べながら実験するようにする。
生命	<p>○この領域の正答率は、80.4%で国の正答率を6.8ポイント上回った。</p> <p>○「野鳥のひなの様子を観察するための適切な方法を選ぶ」問題では、90.7%と国の正答率を8.6ポイント上回った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校ではある程度野鳥の観察ができる環境にあるため、今後も正しい観察の仕方を指導したり、興味関心を喚起するような声掛けを行っていく。 ・腕の曲がる仕組みについて、模型を具体的に操作させることによって理解を深めていく。
地球	<p>○この領域の正答率は、53.1%で国の正答率を3.6ポイント上回った。</p> <p>○「流れてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ」問題では、93.5%と国の正答率を9.9ポイント上回った。</p> <p>●「一度に流す水の量と棒の様子との関係から、大雨が降って流れる水の量が増えたときの地面の削られ方を選び、選んだわけを書く」問題では、21.5%と国の正答率を1.4ポイント上回ったが、正答率としては低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・流れる水の3つの働きの科学的な言葉の概念を今後も理解させる。 ・実験結果をもとに分析して考察したものを記述する学習を多く設ける。